

令和5年度 村上地域区長会連絡協議会要望事項

1 旧村上総合病院跡地利用及びJR村上駅東西アクセスの向上について

現在解体工事中の旧村上総合病院の跡地利用については、これまで統合保育園や官民連携によるにぎわいが図れる空間の創出、また跡地利用に伴う周辺道路の拡幅など、いくつかの案が取りざたされてきましたが、現段階における具体的な進捗状況が周辺住民にはなかなか見えづらいというのが現状であります。旧村上総合病院の跡地利用をはじめとした村上駅前開発については、周辺住民のみならず、市民の大きな関心事の一つです。

また、駅周辺の利便性向上に向けて、特にJR村上駅東西のアクセス向上についても、地域住民や病院利用者をはじめ、多くの方から早期の着工の望む声があがっています。

跡地利用と駅前開発、JR村上駅東西のアクセス向上について具体的な計画やその進捗状況について、具体的にかつ早期に示していただきたく要望いたします。

【回答】

村上駅周辺大規模跡地である村上総合病院跡地とジャスコ跡地の利活用については、村上駅周辺まちづくりプラン（基本構想）を基本とし検討していますが、8月31日に設置を検討している施設や施設の配置案（ゾーニング案）を公表させていただき、市ホームページなどで周知を行ったところ です。

市では積極的に周知を図るため、9月13日には地元田端町区への説明会を開催し、10月13日には、市民を対象に説明会を開催したところです。今後は各地域の区長会においても周知していくこととしています。

また、村上駅を中心に東西を結ぶ連絡通路や駅東西の広場整備については、JR東日本と引き続き協議を行い、具体的な計画やその進捗状況をお示しできるよう、事業の進捗を図ってまいります。

（問合せ先：都市計画課）

2 『みなとオアシス越後岩船』関連要望事項

平成28年度に、岩船港エリアが『みなとオアシス越後岩船』として登録されました。

『みなとオアシス越後岩船』は、岩船地区から瀬波温泉地区までの海岸線に位置し、「岩船港緑地」・「岩船港直売所」・「粟島汽船営業所」・「岩船港海岸（岩船海水浴場から瀬波海水浴場までの海岸）」をはじめ、すばらしい自然や多くの観光資源に恵まれております。

地元でも各種イベントの開催や、令和元年度に緑綬褒章を受章した一斉

清掃などの環境美化活動にも力を入れております。

つきましては、『みなとオアシス越後岩船』の登録により、更なる交流人口の増加を図るべく、下記の2項目につきまして、昨年度に引き続き要望します。

(1) 旧市民会館跡地等の有効活用について

現在、旧市民会館は閉鎖され、日本海スケートボードパークとして利用されていた体育館部分も『村上市スケートパーク』のオープンに伴い、現在は利用されておられません。

また、旧市民会館奥には『いこいの森児童公園』があり、休日になれば市内各地から親子連れが訪れ大変な賑わいとなります。

2021年に開催された東京オリンピックでは、スケートボードが新たな競技に加えられ、日本人選手の活躍により人気が一気に高まったことから『村上市スケートパーク』を含めた旧市民会館一帯は観光においても地域内外の人々の交流の場としてもますます重要なスポットになりました。

今後は旧市民会館跡地に新たな遊具を設置し、併せて恐竜公園のバーベキュー広場の設備を充実させ、家族が無料で楽しめるエリアの創設を要望します。

また、旧船員保険寮跡地及び旧村上市老人ホーム跡地には日本海を一望できる休憩所を整備するなど、『村上市スケートパーク』に隣接した新たな観光・交流スポットとして『みなとオアシス越後岩船』エリアにより多くの人を滞留させられるよう、土地の有効活用を要望します。

【回答】

ご要望の旧船員保険寮跡地及び村上市老人ホーム跡地を含めた旧市民会館及びいこいの森児童公園一帯のエリアは、隣接する瀬波温泉からも近く、有効活用することで瀬波温泉から岩船港までのさらなる魅力向上が期待できるものと考えております。

現在、旧市民会館敷地を日本スケートボーディング連盟が利用しているほか、船員保険寮跡地を消防本部が訓練に活用しておりますが、土地の利用価値を高め、有効活用につながるよう老朽化した施設を解体するなどし、民間活用を含めて周辺エリアの土地の有効活用に努めてまいります。

(問合せ先：生涯学習課)

(2) 諸上寺公園の整備について

諸上寺公園には多くの桜が植樹され、春には見事な八重桜が見られることから、桜の名所としても広く知られています。

当地区は『みなとオアシス越後岩船』の瀬波温泉地区と岩船地区の中間に位置し、登り口から頂上の諸上寺公園まで、道路に沿って八重桜が

咲き誇る様は、さながら桜色の龍が頂上へと駆け登っているかのようでもあります。

旧村上市時代には、植樹や追肥等を行い維持管理がなされてきましたが、合併後は十分な管理が行われておらず、枯れ始めた木も見受けられます。

諸上寺公園が今後も桜の名所として、市民や『みなとオアシス越後岩船』を訪れた観光客に親しまれるように、計画的な桜の苗木の植樹や下草の伐採など必要な維持管理を要望します。

また以前設置されていた諸上寺公園の展望台は『みなとオアシス越後岩船』エリア内随一の高さを誇り、屋上からはエリア全景を見渡すことができ、晴れた日には遠く粟島を望むことができましたが、老朽化のため使用禁止となり平成 29 年に解体されました。

その後、簡易な展望デッキが設置されましたが、従来のような眺望を望むことが出来ません。『みなとオアシス越後岩船』を中心とした観光振興の面からも、前方の桜の枝を伐採することなく、展望台とトイレを一体化（1階部分を障がい者対応型トイレ、屋上部分を展望台とする）して整備するよう要望します。

【回答】

諸上寺公園の桜については、定期的に桜植栽地や遊歩道の除草や側溝清掃、倒木処理を行ってきました。引き続き市民や観光客にも親しまれる公園として維持管理に努めてまいります。

苗木の植樹については、桜の枯れた箇所にも昨年度 7 本植樹を行いました。今後も引き続き植樹などの維持管理を実施していきます。

展望デッキについては、老朽化した展望台を撤去し平成 30 年度に簡易な展望台を設置したものであり、従来のような眺望を望むことはできません。市内には、屋外に設置のトイレが 50 か所程度あります。古いものや傷んでいるものから順次更新等について検討しており、今年度はいこいの森トイレの更新工事を行っております。諸上寺公園のトイレについては平成 10 年度に設置されたものであり、更新の際には要望のあった展望台も検討したいと思っております。

（問合せ先：観光課）

3 環状 3 号線の早期開通について

瀬波温泉トンネルから先の環状 3 号線については、地元の瀬波地区のみならず、他地区からも要望が出されたこともあり、村上市都市計画マスタープランの中でも広域幹線道路に位置付けられている重要な路線です。この瀬波温泉トンネルから先の環状 3 号線について、平成 15 年 8 月に当時の村上市長と村上土木事務所（現在の新潟県村上地域振興局地域整備部）に瀬波地区区長が連名で環状 3 号線の早期開通の要望書を提出しており、

それ以降も早期開通の要望を繰り返しております。

しかしながら、同路線に大きな影響を及ぼす村上総合病院が移転・開院し、それに伴い県においては、村上総合病院へのアクセス道路としての松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということと、整備の必要性や効果の客観的な整理が必要ということで、国道 345 号瀬波温泉トンネル先線の事業化についてはいまだに目処が立っていない状況です。

平成 28 年 6 月の村上市議会第 2 回定例会の一般質問において瀬波温泉トンネル先線の整備に関する質問が提出され、市長は「瀬波温泉トンネル先線の整備を行うことは、村上駅西地区や新築される村上総合病院などへの山北からの海岸線沿線地区や瀬波地区からのアクセスの向上、村上駅西地区内の移動の円滑化が図られるほか、村上駅周辺のまちづくりにおいても重要な路線であると考えられます。今後もこれまでおこなってまいりました通常の要望活動に加え、岩船郡村上市土木振興会からも強く関係機関へ要望活動を行ってまいりますとともに、整備手法につきましても県と連携を図りながら研究・検討を行ってまいります。」と答弁しています。

また、令和 2 年 9 月開催の村上市議会第 3 回定例会でも同様の質問があり、市長は「要望活動は行っているが、県からは松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということで、国道 345 号瀬波温泉トンネル先線の事業化については現時点では目処が立っていない状況であるという回答を受けているが、引き続き要望していく」と答弁しています。このことから市としても重要な路線と位置付けているということで、新潟県に環状 3 号線を事業化してもらい、実施年度などの事業計画を示す必要があると思われれます。

この長年の懸案事項である環状 3 号線の早期開通に向けての事業化と事業実施年度の明確化を村上市から新潟県へ働きかけていただくよう強く要望いたします。

【回答】

都市計画道路「環状 3 号線」の未整備区間となる瀬波温泉トンネル先線の早期事業化につきましては、国道 345 号のバイパスと位置づけ、これまでも県に強く要望してまいりましたが、なかなか進展しない状況が続いています。

本市といたしましては、村上総合病院の移転に伴い、JR 村上駅西側へのアクセス向上を目的として県が整備を進めている松山バイパスの早期完成を最優先にお願いしているところではありますが、トンネル先線につきましても、地域の活性化につながる路線としての重要性を踏まえ、今後も粘り強く要望を継続してまいりたいと考えております。

(問合せ先：都市計画課)

4 山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）の改修について

山辺里体育館は、建築後 44 年（昭和 54 年 7 月竣工）が経過し、躯体の老朽化が著しい上に夜間の照明（水銀灯）も暗く、さらには、給排水設備も中止の状態で、トイレも使用できない状況となっております。

しかし、このような施設でありながら、地域内外のスポーツ愛好者の利用をはじめ、中学校部活動の補完活動や各種生涯スポーツ等子どもから高齢者まで多くの利用があり、令和 4 年度の利用実績は、481 件、利用延べ人数 4,474 人で、本市社会体育施設の体育館利用者数の 12.5% となっております。

また、本施設は地域の中心に位置し、村上農村環境改善センターと一体となった利用環境にあることから、毎年 4 月に開催している山辺里地区敬老会や放課後子供教室など地域コミュニティの拠点施設として当地区においても、必要不可欠な施設となっております。

「村上市スポーツ施設整備計画」におきましては、大規模修繕が必要となった際（定義が不透明）には、施設を廃止することになっておりますが、前段の地域コミュニティ及び市民協働のまちづくりの拠点施設として、子どもたちが通える、また、高齢者に身近な施設として、区域内外の市民の共有財産として大規模改修等を強く要望いたします。

【回答】

ご要望の山辺里体育館について、今後の維持管理の方向性を検討するため、本年 6 月に施設の劣化状況調査を行いました。調査から特に屋根や外壁の破損が著しく、現在は台風等の強風による屋根軒板の落下が危惧される状況となっております。屋根や外壁等の修繕費用は高額な見積りとなっており、大規模な改修となる見込みとなっております。

廃校を利用した体育施設については、スポーツ施設整備計画に基づき、大規模改修が必要となった際には、建て替えをすることなく施設を廃止することにしておりますので、廃止に向けた施設利用の準備を進めてまいりたいと考えております。

しかしながら、山辺里体育館は、地域の拠点施設である村上農村環境改善センターと一体なって、地域の皆さんに広く利用されていることは承知しておりますので、引き続き地域コミュニティの場として機能を維持できるよう検討してまいります。

（問合せ先：生涯学習課、市民課）

5 「ながらパトロール」、「こども 110 番の家」について

「ながらパトロール」は、高齢者と子供を対象とし、犯罪事故の防止、防犯意識の高揚を図っている活動であり、「こども 110 番の家」は、子供の一時的な保護と警察への通報という小学校区単位の緊急避難場所でもあります。

しかしながら、時間の経過とともに登録者が死亡していたり、高齢で活動できない家が登録されているなど色々な支障が見受けられ、区長も集落の誰が担っているのか、把握ができていない状況でもあります。

については、「ながらパトロール」担当課である市民課、「こども 110 番の家」担当である教育委員会と協議の上、事業の一体化、活動状況の把握の一元化などを行っていただくとともに、区長とも情報共有を図っていただくよう要望します。

【回答】

「ながらパトロール」は、仕事や散歩などしながら日常生活と合わせて行う無理のない防犯パトロールを行うもの、「こども 110 番の家」は、教育委員会や学校、自治会などが警察と連携しながら、犯罪等の被害に遭いまたは遭いそうになって救助を求めてきた子供等の保護を行うものです。

それぞれの事業の性格から、事業の一体化は難しいものと考えますが、それぞれの登録状況などが各地域の区長へも見えるよう情報共有に努めてまいります。

(問合せ先：市民課)